

ひさしぶりだね、じいじい

高林 周
たかばやし
あまね

じいじい、ひさしぶりだね。おぼんで、おうちにかえってきたね。きゅうりのうまも、なすのうしもつくるよ。ゆっくりして行ってね。

じいじいとおもいでは、いっぱいあるよ。わたしが、まだあかちゃんだったころ、よくだっこしてくれたね。いまでもはつきりおぼえているよ。おかゆをたべさせてくれたことも、えほんをよんでくれたこともあったね。おにわで、みずあそびもしたし、よるには、はなびもしたよね。とつてもたのしかったね。じいじいとはなびをやったときの、ローソクのあとがいまでもコンクリートにのこっているよ。なつかしいよ。じいじい。

じいじい。ランドセルかってくれてありがとう。とつてもきにいつているよ。いろいろもようもだいすきだよ。小がっこうは、たのしいよ。おともだちもいっぱいできたし、せんせいもちよつぱりこわいけどとつてもおもしろいし、おべんきようは、たまにわかないときもあるけどたのしいよ。じてんしゃもかってくれてありがとう。みずいろでとつてもすてきなじてんしゃだよ。さいきんのれるようになったんだ。じいじいにもみせたかったな。ランドセルもじてんしゃも。

じいじいが、きゅうきゅうしゃにのせられるとき、びっくりしたよ。そして、もしかしたら、もうあえないかもつておもったんだ。でも、ほんとうにそうなっちゃったね。コロナで、おみまいもだめだつてしまったとき、さびしかったよ。あいたかったよ。じいじいによつとあえたのは、つめたくなつてからだつたね。じいじいのおふとんにもぐりこんだらつめたくてかたくなつてたね。でも、やつとあえてうれしかったよ。

じいじい、あしたまでみんなとられるね。ゆっくりして行ってね。かえりは、なすのうしにのつてかえるんだよ。ああたんがいつた。じゃあね、じいじい。

八月十五日 たかばやし あまね

評価のポイント

語りかける文章によって「じいじい」への作者の気持ちがよく分かるようになってい